

とんでもない!『自己責任』～福祉は権利!～

憲法25条にもとづく権利としての福祉確立を求める請願

衆議院議長 様
参議院議長 様

紹介議員

請願趣旨

保育園、障害者施設、高齢者施設など、子どもたちやお年寄り、障害者などを支える福祉施設の重要性が高まっています。その施設の増設も急がれていますが、同時に、福祉を支える労働者の確保と定着が求められています。

直接の対応だけでなく、事務仕事、行事準備などにも追われ、手当など一切つかない「持ち帰り残業」も日常的な実態です。休憩や有給休暇をまともにとれない職場も少なくありません。また、国の調査でも平均年収は、保育士で324万円、高齢者介護施設介護員で307万円など、自立して見通しを持ちながら安定的に働き続けることが困難な賃金・労働条件となっています。臨時やパートなど、さらに厳しく不安定な非正規の労働者が職場の中心的な役割を果たす状況が広がり、福祉の実践の継承も困難になっています。

いま、福祉・保育の担い手の待遇改善を求める声が国会にもようやく響き始め、その必要性については一致する状況にもなってきましたが、賃金・労働条件が整ってこそ、働き続けられ、やりがいとともに福祉を支えていけるのです。労働者の自己責任、自己犠牲では担いきれません。

ボーナスを含めた一般の労働者平均月収が約30万円なのに対し、福祉・保育分野ではその3分の2程度にとどまっている中、私たちは、多くのおみなさんと力をあわせて、その待遇改善、賃金・労働条件のアップを求めます。「介護労働者の月額4万円賃上げ」を国民に約束した政権は、福祉全般について責任を持ってその約束を果たすべきです。

また、福祉にかかわる諸政策は、「自助」「共助」で自己責任をあおって利用抑制するのではなく、憲法25条にもとづいて、権利としての社会福祉をベースとして保障し、充実すべきです。

請願項目

- 社会福祉・社会保障にかかわる政策は、「自助」「共助」として利用抑制するのではなく、憲法25条にもとづく国民の権利を保障し、拡充してください。
- 保育園、高齢者施設、障害者・児施設、児童養護施設など、社会福祉施設・事業の賃金・労働条件を国の責任で大幅に改善してください。


氏 名	住 所

(お名前、御住所などの個人情報は署名の提出以外には一切使用いたしません)




とんでもない!自己責任


福祉は権利!



保育園は足りないし、入れてもかかるお金が高すぎます。新制度にするって聞いたけど、もっと不安です!



払えない障害者からもお金をとるのが基本の法律なんて。福祉は権利です!




特養ホームは待機者ばかり。保険料も利用料もどんどん上がって...


保育、障害者福祉、高齢者介護など、福祉が「商品」になり、お金で買えない人は、受けられない。そんな流れがすすめられています。

さらに国は、「自助」「共助」ばかりを強調して、福祉を「自己責任」にしようとしています。憲法25条では、「健康で文化的な最低限度の生活を営む」権利が国民にあって、福祉の向上と増進が国の義務なのに。福祉が自己責任なんて、とんでもない! 福祉はみんなの権利です。

福祉を支える福祉労働者の状況も深刻です。やりがいはあっても厳しい実態。これも自己責任ですか?国会でも保育や介護の担い手の給与や労働環境を改善しようとする必要性は一致するようになってきました。さあみんなの声を集めて、その実現を!

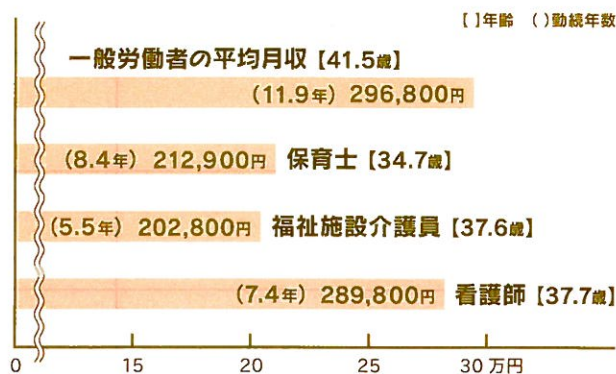


園の職員の半数は非正規。正規雇用の保育士でもギリギリの給料。持ち帰りの仕事も多くてクタクタ...



介護労働者の月4万円の賃上げを政権が約束したのに、上がってません。やりがいはあるのに見通しが持てずに辞めて、さらに仕事がきつくなって...

こんなに低い福祉労働者の賃金



厚生労働省 平成23年度賃金構造基本統計調査より

「福祉は権利」署名(憲法25条にもとづく権利としての福祉確立を求める請願)にご協力を!